

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(11/13)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
かがわ医療福祉総合特区(香川県)	正	3.2	3.3 進捗度 ・電子カルテ機能統合型テレビ会議システム「ドクターコム」等による遠隔医療の推進 91% ・医療ライブラリ事業実施によるへき地離島の医師等の負担軽減 185% ・市町村運営有償運送 33% 等	2.5 財政支援等 ・ドクターコム利活用促進事業 ・医療ライブラリ事業 等 地域独自の取組 ・複合型福祉サービス充実事業	3.4	<p>・全体として概ね順調に進捗しているものと評価するが、数値目標が低く設定されている。全国展開を目指すモデル構築には事業計画の見直しが必要。</p> <p>・ドクターコムを利用する患者数が増えていることや、医療ライブラリ事業が医師に使われていることは評価できる。一方で、デジタル化した医療だけでなく、既存のアナログ的な医療との共用を検討し、全体システムを考えるべきではないか。</p> <p>・病院施設の一部転用による福祉施設の整備がスタートすることで、小豆島における医療・福祉の総合的な展開の拠点として機能できるように、その運用面や人材活用面で、先行するモデル等の参照も含め、戦略的に取り組む必要がある。</p> <p>・へき地薬局や市町村運営有償運送については、実際の変化やニーズの検証、分析が望まれる。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。